

MD050_SPF_COS_008 出荷処理(工場直送出荷)	説明: 生産物流Sに出荷依頼データを連携します。生産物流Sで出荷完了後、販売実績テーブルにデータを書き込み、対象受注をクローズします。	作成日	2008/06/09	作成者	ORACLE 小林	更新日	2009/03/13	更新者	SCS石渡	Ver.	Issue3.0
--------------------------------	---	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	-------	------	----------

### 処理概要

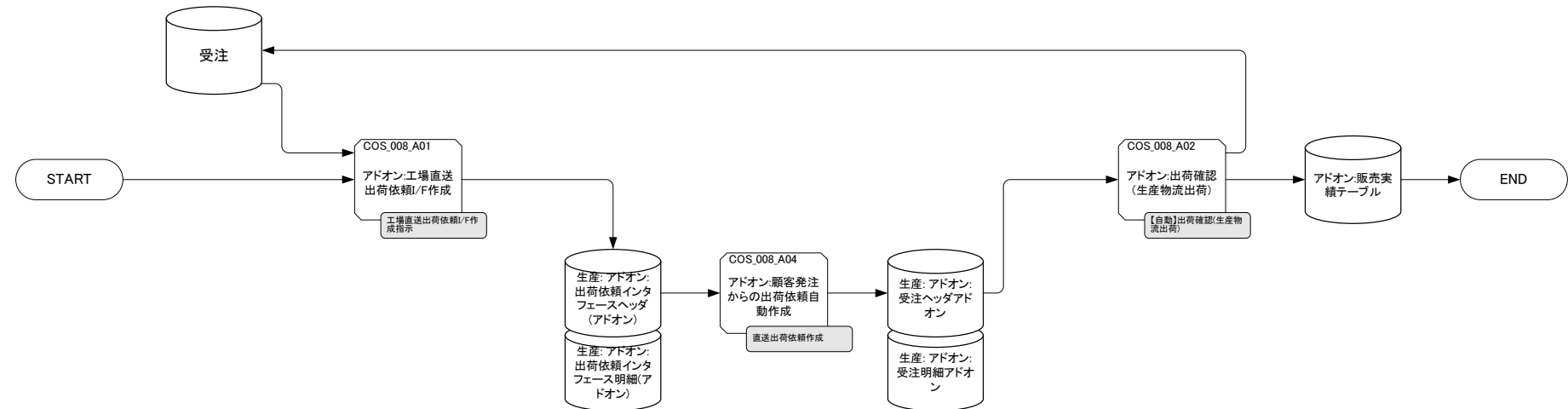
工場直送出荷の場合、営業Sから生産物流Sに出荷依頼データを連携し、生産物流Sで出荷処理を行います。生産物流Sで出荷完了後、営業Sに出荷データを取込むタイミングで対象受注を出荷済に更新し、販売実績テーブルにデータを書き込みます。

**システム利用者**  
 在庫照会画面: 特販部課\_内務担当者(特販部)  
 その他: 拠点\_内務担当者、百貨店課\_内務担当者、専門店課\_内務担当者、  
           特販部課\_内務担当者、通販部課\_内務担当者、国際部\_内務担当者

**処理タイミング、その他**  
 出荷確認: 日次夜間バッチ。その他: 随時。

### システムプロセスフロー記入時の注意事項

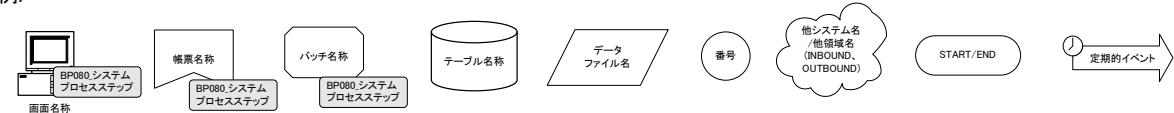
- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→①) / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



出荷依頼: 受注ヘッダ・明細アドオンに作成される。

出荷実績: 工場出荷によって、受注ヘッダ・明細アドオンのステータスが更新されるとともに標準の搬送ヘッダ・明細も更新される。(※出荷実績を受注ヘッダ・明細アドオンから取得するか、搬送ヘッダ・明細から取得するかは設計の中で検討する)

凡例:



MD050_SPF_COS_008 出荷処理(工場直送出荷)	説明: 生産物流Sに出荷依頼データを連携します。生産物流Sで出荷完了後、販売実績テーブルにデータを書き込み、対象受注をクローズします。	作成日	2008/06/09	作成者	ORACLE 小林	更新日	2009/03/13	更新者	ORACLE 小林	Ver.	Issue3.0
--------------------------------	---	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	--------------	------	----------

#### 処理概要

工場直送出荷の場合、営業Sから生産物流Sに出荷依頼データを連携し、生産物流Sで出荷処理を行います。生産物流Sで出荷完了後、営業Sに出荷データを取込むタイミングで対象受注を出荷済に更新し、販売実績テーブルにデータを書き込みます。

#### システム利用者

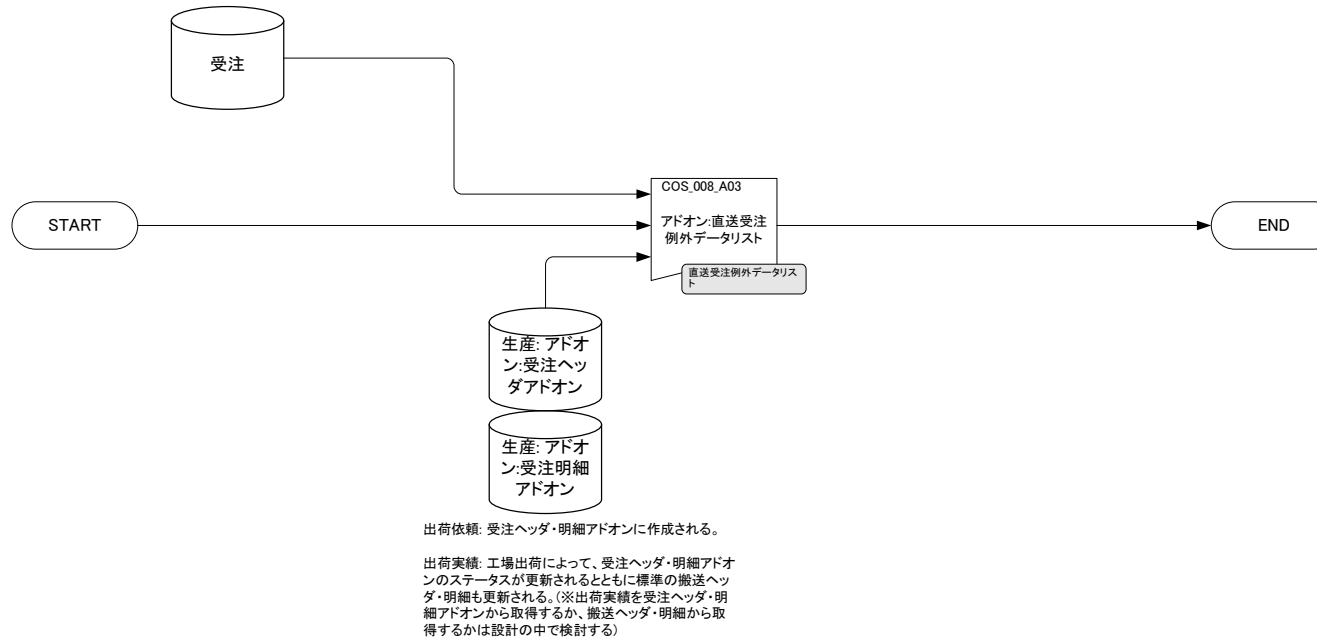
在庫照会画面: 特販部課 内務担当者(特販部)  
その他: 拠点 内務担当者、百貨店課 内務担当者、専門店課 内務担当者、  
特販部課 内務担当者、通販部課 内務担当者、国際部 内務担当者

#### 処理タイミング、その他

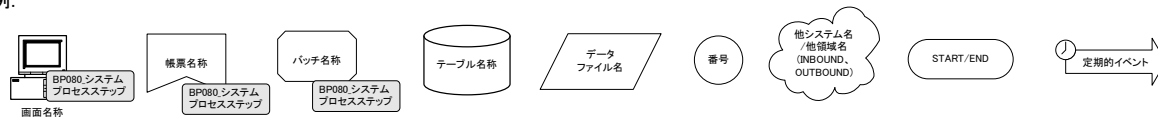
出荷確認: 日次夜間バッチ。その他: 随時。

#### システムプロセスフロー記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_008 出荷処理(工場直送出荷)	説明: 生産物流Sに出荷依頼データを連携します。生産物流Sで出荷完了後、販売実績テーブルにデータを書き込み、対象受注をクローズします。	作成日	2008/06/09	作成者	ORACLE 小林	更新日	2009/03/13	更新者	ORACLE 小林	Ver.	Issue3.0
--------------------------------	---	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	--------------	------	----------

#### 処理概要

工場直送出荷の場合、営業Sから生産物流Sに出荷依頼データを連携し、生産物流Sで出荷処理を行います。生産物流Sで出荷完了後、営業Sに出荷データを取込むタイミングで対象受注を出荷済に更新し、販売実績テーブルにデータを書き込みます。

#### システム利用者

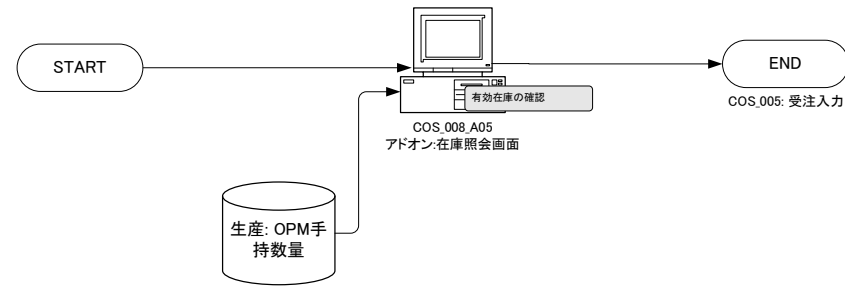
在庫照会画面: 特販部課 内務担当者(特販部)  
その他: 拠点 内務担当者、百貨店課 内務担当者、専門店課 内務担当者、  
特販部課 内務担当者、通販部課 内務担当者、国際部 内務担当者

#### 処理タイミング、その他

出荷確認: 日次夜間バッチ。その他: 随時。

#### システムプロセスフロー記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

